

一般会計予算

平成30年度当初予算 382億1,600万円
(前年度比 16.3%増)



平成30年度一般会計当初予算は、昨年8月に公表した「むつ市財政中期見通し2017」を前提とし、財政の健全化すなわち歳入規模に見合った財政規模への転換、効果的で効率的な行政運営、強固な財政基盤の確立を目指すとした財政健全化目標を達成したものとされています。

また、昨年3月に策定された「むつ市総合経営計画」に基づく初めての予算編成となり、限りある財源の中ではありますが「笑顔かがやく希望のまちむつ」の実現のため、総合経営計画の5つの基本方針に沿った「むつ市成長戦略2018」に掲げる施策を積極的に展開することとし、むつ市の成長の礎を築くため、確固たる決意を持って取り組みました。

この結果、予算額は382億1,600万円と、過去最大の予算規模となり、前年度との比較では53億5,600万円、率にして16.3%の増となりました。

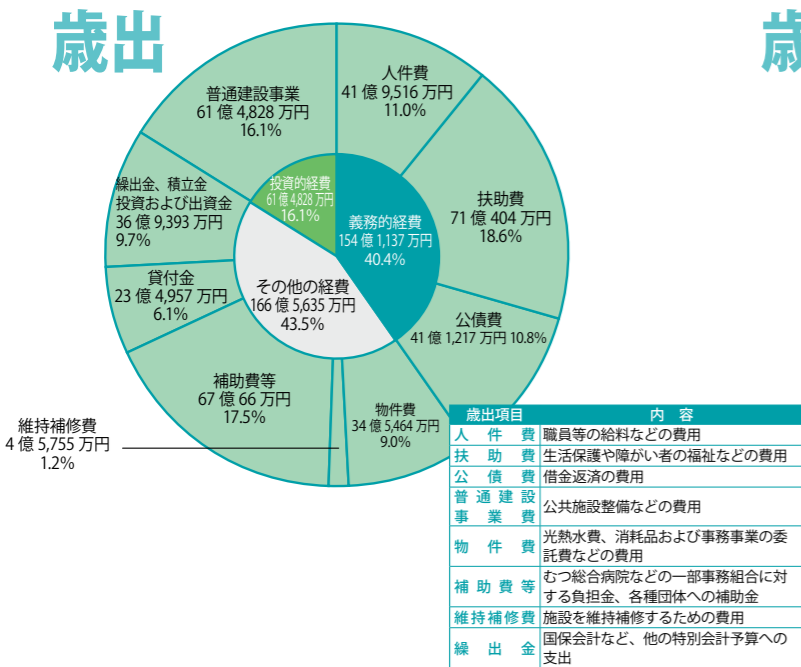
歳入は、合併特例加算の縮小等による普通交付税の減少がある一方で、市税やふるさと納税寄附金の増額が見込まれますが、自主財源比率は約26%と乏しく、依然として依存財源に頼らざるを得ない財政状況です。

歳出は、むつ市総合アリーナ整備事業や一部事務組合下北医療センターへの貸付金により増額となったものの、公共施設維持管理経費の圧縮や事務事業の見直し、繰上償還による公債費の縮減等に努めています。

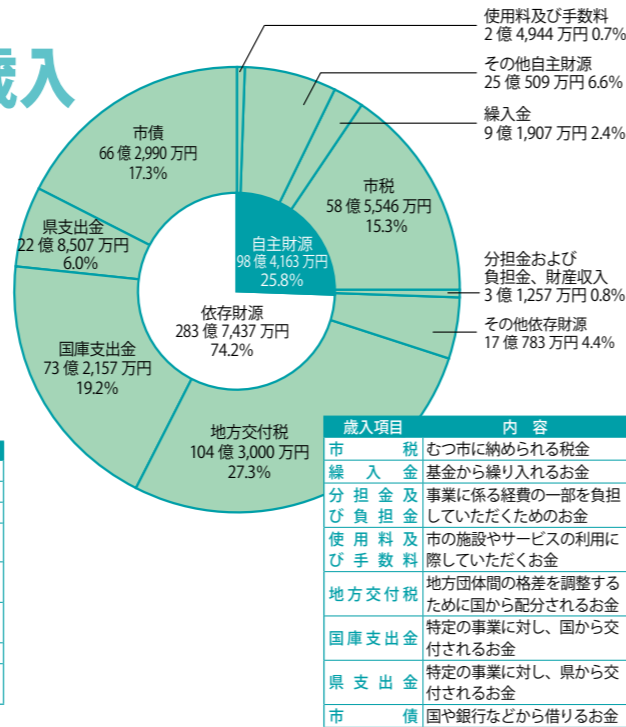
また、6つの特別会計と企業会計（水道事業）についても平成30年度当初予算が決まりました。

今後も財源の確保と効率的・効果的な予算執行に努め、将来世代に負担を先送りすることのないよう、引き続き財政の健全化に取り組みます。

歳出



歳入

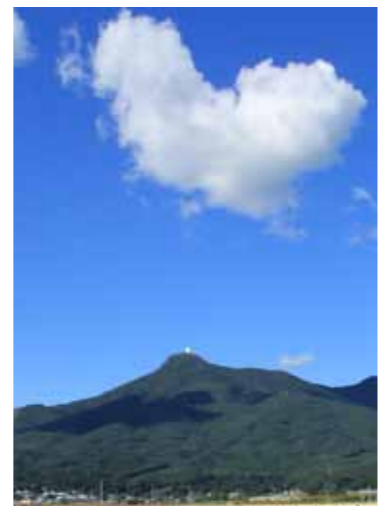


歳入項目	内容
市 税	むつ市に納められる税金
繰 入 金	基金から繰り入れるお金
分 担 金 及 び 負 担 金	事業に係る経費の一部を負担していただくためのお金
使 用 料 及 び 手 数 料	市の施設やサービスの利用に際していただくお金
地 方 交 付 税	地方団体間の格差を調整するために国から配分されるお金
国 庫 支 出 金	特定の事業に対し、国から交付されるお金
県 支 出 金	特定の事業に対し、県から交付されるお金
市 債	国や銀行などから借来的お金

各会計予算

	30年度	29年度	増減額	増減率
一般会計	382億1,600万円	328億6,000万円	53億5,600万円	16.3%
特別会計	144億7,952万円	158億6,502万円	△13億8,550万円	△8.7%
国民健康保険特別会計	63億799万円	78億8,846万円	△15億8,047万円	△20.0%
後期高齢者医療特別会計	5億2,917万円	5億1,133万円	1,784万円	3.5%
下水道事業特別会計	13億9,866万円	13億3,680万円	6,186万円	4.6%
公共用地取得事業特別会計	3,441万円	1,479万円	1,962万円	132.7%
介護保険特別会計	61億9,695万円	60億6,788万円	1億2,907万円	2.1%
魚市場事業特別会計	1,234万円	4,576万円	△3,342万円	△73.0%
企業(水道事業)会計	34億692万円	34億6,259万円	△5,567万円	△1.6%

- 一般会計
市役所の基本的な仕事をする会計で、大部分がこの一般会計予算に含まれます。福祉や保健、生活環境、教育、消防、防災などに使うお金をまとめたものです。
- 特別会計
一般会計とは切り離して特定の事業ごとに管理する予算です。保険税や使用料などの特定の収入で事業を実施します。負担と受益の関係が明確になるなどのメリットがあり、国民健康保険事業や下水道事業、魚市場事業など6つの特別会計を設けています。
- 企業会計
民間企業のように原則として独立採算の予算です。むつ市では、水道事業がこれにあたります。



やさしさでつながるまち応援予算

みまもりを軸に全市民がつながる

新たな挑戦に注目! 例えば 高齢者等見守りネットワーク 拡充プロジェクト 予算額 33万円

金融機関や認知症サポート事業所等にも参加協力を依頼し、見守りネットワークの拡大を目指します。



高齢者人口は年々増え続け、平成28年4月1日現在17,734人、高齢化率は29.5%です。今後、一人暮らしや高齢者夫婦世帯、認知症高齢者の増加とともに、介護を必要とする高齢者が増えるなか、高齢者が健康で生きがいを持って生活することができる地域社会を築くことが課題となっています。

むつ市は、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる、ふれあいと支え合いのまちを目指します。



他にも
新たな見守り支援システム導入プロジェクト
見守り支援システム「Me-MAMORIO」を導入し、徘徊模擬訓練等を重ねながら、実証実験を行なっています。

認知症サポーター増加プロジェクト
「(仮称)認知症サポート認定団体制度」を新設し、地域の認知症サポーターをさらに増やしていきます。

まちづくり応援予算

コンパクトシティで全国のまちづくりを牽引

新たな挑戦に注目! 例えば むつ市総合アリーナ 整備プロジェクト 予算額 37億2400万円

スポーツ活動の充実やにぎわいの創出、地域防災力の向上等を図るため、新総合アリーナの整備を進めます。



他にも
田名部まちなか公営住宅PFIプロジェクト
おおみなと臨海公園P-PFIプロジェクト
川内ホタテガイ養殖残渣ジオサイクルプロジェクト
大畑庁舎移転を核とした新たな拠点づくりプロジェクト
脇野沢温泉を核としたまちづくり応援プロジェクト

これからのまちづくりは、都市経営コストの適正化及びコスト増大につながる市街地拡大の抑制並びに森林保全のために計画的な土地利用を進め、経済活力の向上が図られる都市構造を官民連携のもと実現していくとしたコンパクトシティ構想によるまちづくりが求められています。

むつ市は、まちの維持管理の適正化を推進し、人口密度の維持を図りながら、生活利便施設が立地し経済活動が活性化し暮らしやすいまちを目指します。

魅力ある選ばれるまち応援予算

世界のむつヘジオパークで前進 観光地として選ばれるまちへ

新たな挑戦に注目! 例えば 地域循環型社会の形成に向けた ジオサイクル推進プロジェクト 予算額 196万円

市内事業者の協力を得て生ごみ処理機を設置し、生ごみ堆肥化事業の課題や事業採算性などを検証するモデル事業を実施します。

既存の観光、特産品資源を徹底的に磨き上げるとともに、文化、歴史、風土、大地など下北ジオパークが持つ価値を付与しつつ、地域の新たな魅力を創出し、地域間競争を勝ち抜き地域ブランドを確立する必要があります。むつ市は、魅力にあふれ常に「行くならむつ市」「買うならむつ市産」と選ばれるまちを目指します。

他にも
AIR in Mutsu Kawauchi プロジェクト
台湾メディアプロモーションプロジェクト
世界へ魅力発信プロジェクト
アゲハ夜景観光推進プロジェクト
クルーズ客船誘致・歓迎プロジェクト

